



高齡化社会を迎え、「健康であり続ける」ことが大きな課題になっています。そのため、保健センターを拠点に、各種検診・健康相談などを実施し、病気の予防や早期発見に努めています。「自分の健康は自分で守る」という基本方針のもとに、生活習慣の改善など病気にならない健康な体づくりを進めています。

また、少子化・核家族化が進む今、子供を安心して産み育てられる環境づくり、地域で取り組む子育て、世代を越えた交流を支援しています。

誰もが、生き生きと自分らしく生活できる社会、ノーマライゼーションの考えに基づいた福祉の充実を図っていきます。

